

第21回九州小学生ゴルフ選手権大会

兼 第19回全国小学生ゴルフ春季大会 九州予選

開催日：2025年1月5日(月)
開催コース：小郡カンツリー倶楽部

2023年度日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則と、この競技の条件・ローカルルールを適用する。本書に記載ない事項や追加変更ある場合は、競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ローカルルール

- アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
ただし、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他のコース上の区域に止まった球はアウトオブバウンズの球とみなす。
(以下OBと記す) OBの場合、OB杭を横切ったと思われる最も近いフェアウェイの端より2クラブレンジス内にドロップしプレーを再開することができる。(2罰打)
- 東コース1番、2番、7番、9番、西コース1番、8番、9番、南コース3番、4番、6番、7番ホールにて打球が黄杭を越えて、ほかのホールに止った場合、1打付加して横切った地点と思われる最も近いフェアウェイの端より2クラブレンジス内にドロップしプレーを再開することができる。ただし黄杭自体は動かさない障害物とみなす。
- ジェネラルエリアにある枕木、カート道、排水溝、排水施設、マンホール、樹木の支柱、防球ネットは動かさない障害物とする。
- 西コース8番ホールにて、ボールが左側OBゾーンを越えた場合はOBとする。
- 東コース2番、8番、9番、西コース7番、南6番にて第1打が池にボールが入った場合、前方のドロップゾーンからプレーイング3でプレーすること。
- 現にプレーしているホール以外のグリーンに球が乗った時はホールに近づかず、その外に罰なしに1クラブ・レンジス以内にドロップしなければならない。
- 規則5. 5bは次のように修正される：
2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
※ハーフ（休憩）時のコース内のパター練習場は使用可能とする。
- 規則5. 2bは次のように修正される：プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間にコース上で練習してはならない。
- 危険な状況のためのプレーの中断は、1回の長いサイレン及びカートナビによって伝えられる。
その他すべての中断は、3回の短いサイレンによって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンによって伝えられる。(規則5. 7b参照。)
- 競技の短縮：委員会は、コースの状態が適正なるプレー不可能と判断したときは、競技規定に定めてあるホール数を短縮することができる。
- 使用ティーマーカー：コンペティションマークを使用する。

【注意事項】

- 競技の条件またはローカルルールに追加、変更のあるときは、スタートに掲示して告示する。
- 練習は指定練習場にて行い、練習場においては備付けの球を使用し、スタートの前の練習は1人30球を限度とする。
- プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。なお、プレーの進行を不当に遅らせた場合はペナルティーを課す。
- スタート時刻の30分前にはクラブハウス内で大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻10分前には必ずティーイングエリア周辺で待機すること。但し、欠席者が出たときは組合せを変更する場合がある。
- プレー中はディポットの修復とバンカーで作ったくぼみ、足跡の修復を必ず行うこと。
- グリーン保護のため、メタルスパイクシューズおよびタウン用シューズの使用を禁止する。

大会競技委員長